

保健医療計画の見直し

1 保健医療計画について

(1) 医療法に基づく医療計画で、以下の事項について策定

① 5疾病5事業

5疾病：がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患
5事業：救急医療、災害時医療、へき地医療、周産期医療、小児医療

- ② 在宅医療
- ③ 医療従事者の確保
- ④ 地域医療構想
- ⑤ 医療の安全の確保
- ⑥ 医療圏の設定
- ⑦ 基準病床数

※地域編では、①医療提供体制、②地域の特徴的な疾病対策等、③在宅医療の推進について記載

(2) 本県の保健・医療に関する施策の基本指針

2 計画期間

平成30年度～平成35年度

3 見直しのポイント

- (1) 指標の見直し等による政策循環の仕組みの強化
- (2) 介護保険事業支援計画等との整合性の確保
- (3) 他計画（へき地保健医療計画、周産期医療体制整備計画）を保健医療計画に一本化

現計画(第6次計画)の地域における進捗状況

1 医療提供体制

項目	目標		進捗状況(直近2か年)	
	H28	H29		
医療従事者(人口10万対医師数)	144.8人	—	138.2人(H24)	137.7人(H26)
医療情報共有医療機関数	18施設	20施設	18施設(H27)	22施設(H28)
救急患者受入割合(新庄病院)	47.4%	46.5%	51.1%(H27)	49.9%(H28)

2 地域の特徴的な疾病対策

項目	目標		進捗状況(直近2か年)	
	H28	H29		
正常値者割合(糖尿病関連検査)	29.0%	31.0%	26.1%(H26)	21.0%(H27)
自殺による死亡率(人口10万対)	29.4人	28.1人	26.5人(H26)	41.4人(H27)

3 在宅医療の推進

項目	目標		進捗状況(直近2か年)	
	H28	H29		
在宅(自宅・老人ホーム)死亡者割合	16.2%	17.2%	14.9%(H26)	14.1%(H27)

策定スケジュール

月	県・地域保健医療協議会等
4月	
5月	第1回県保健医療推進協議会 ◆計画策定の進め方について ◆計画等の進捗管理
6月	
7月	
8月	第1回地域保健医療協議会 ○計画の骨子案について ○病床機能調整WGの状況等
9月	計画骨子案について意見照会
10月	
11月	第2回地域保健医療協議会 ○計画案について ○在宅医療専門部会の状況等
12月	
1月	第2回県保健医療推進協議会 ◆計画案について
2月	第3回地域保健医療協議会 ○保健医療計画の進捗管理 ○地域医療構想調整会議
3月	県医療審議会 計画決定

第7次山形県保健医療計画【最上地域編】骨子案の概要

1 医療提供体制

現状と課題

- (1) 医師、看護師等医療従事者の確保
勤務医の負担増懸念、医療従事者全般の確保必要
- (2) 基幹病院の機能強化
県立新庄病院の改築整備に向け診療機能等検討
- (3) 医療連携体制の強化
かかりつけ医の普及・定着が不十分、もがみネットの拡大、多職種連携が必要
- (4) 地域の医療体制
(救急医療) 救急救命センターがなく広域連携で対応、時間外適正受診の普及啓発活動
(災害時における医療) トリアージスペース・ヘリポート等の整備必要
(へき地の医療) 代診医派遣、自治医大卒医師等の派遣要請
(周産期医療) 分娩取扱いが県立新庄病院のみで勤務医の負担大、ハイリスク分娩等の転院・搬送
(小児医療(小児救急医療含)) 小児科医が少ない、小児救急電話相談事業(#8000)の普及啓発

目指すべき方向

- (1) 医師、看護師等医療従事者の確保
小中高生への動機付け、医学生等への情報発信、看護師確保推進ネットワーク協議会による確保対策
- (2) 基幹病院の機能強化
県立新庄病院改築に向けての協力・支援、自治体病院等への診療応援体制の維持
- (3) 医療連携体制の強化
多職種連携、もがみネットの利用機関・登録患者拡大、地域連携パスの利用拡大
- (4) 地域の医療体制
(救急医療) 県立新庄病院の改築整備に合わせた救急部体制・ヘリポート整備の検討
(災害時における医療) 災害医療コーディネイト機能の充実、災害拠点病院の機能強化
(へき地の医療) 地域全体でのへき地医療のサポート、自治医大卒医師等の派遣
(周産期医療) 産婦人科医確保・現状の医療機能堅持、ハイリスク分娩に係る広域連携
(小児医療(小児救急含)) 小児科医確保対策、小児電話相談事業(#8000)の利用推進

数値目標

○医師、看護師従事者数(人口10万人対) ○地域医療情報ネットワーク「もがみネット」登録患者割合 ○初期救急医療施設の受入れ割合 ○小児科医数(人口10万人対)

2 地域の特徴的な疾病対策等

現状と課題

- (1) がん対策
がん死亡率が県・全国平均より高値、女性胃がん標準化死亡比が全国で最も高値
- (2) 脳卒中对策
脳卒中(脳血管疾患)死亡率が県・全国平均より高値、急性期・回復期・リハビリ期の連携強化必要
- (3) 急性心筋梗塞対策
心疾患の死亡率が県・全国平均より高値、広域連携のため救急搬送体制充実が必要
- (4) 糖尿病対策
糖尿病死亡率が県・全国平均より高値、正常値者の割合が他地域より低率
- (5) 精神疾患対策
自殺死亡率が県・全国平均より高率、精神科救急医療施設が地域内になく患者・家族に負担
- (6) その他(発達障がい児の早期発見、早期療育)
発達障がいに関する専門機関が少ない、保育所等集団の場での早期発見・早期支援の期待大

目指すべき方向

- (1) がん対策
がん検診受診・精密検査受診率向上、受動喫煙防止対策・喫煙率低下
- (2) 脳卒中对策
特定健診の実施率向上、早期回復のため医療・福祉・在宅分野での連携
- (3) 急性心筋梗塞対策
特定健診の実施率向上、二次保健医療圏で対応困難な場合の救急搬送体制の充実
- (4) 糖尿病対策
生活習慣改善、職域保健・地域保健・関係団体と連携した糖尿病対策
- (5) 精神疾患対策
地域の相談支援体制と関係機関の連携強化、正しい知識・対応方法等の住民への普及啓発
- (6) その他(発達障がい児の早期発見、早期療育)
関係機関との連携による診断・療育体制整備、保育士等の相談・支援体制強化

数値目標

○胃がん検診受診率 ○胃がん検診精密検査受診率 ○特定健診の実施率 ○特定保健指導の終了率 ○市町村国保健診における糖尿病関連検査での正常値者の割合 ○自殺による死亡率

3 在宅医療の推進

現状と課題

- (1) 在宅医療の充実
退院支援の充実、口腔ケア充実・食事支援の必要、急変時の連携必要、在宅医療の周知必要
- (2) 介護との連携
医療・介護関係者の連携強化、広域的に取り組む事業の調整・支援が必要

目指すべき方向

- (1) 在宅医療の充実
医療機関等の連携強化、在宅医療提供の医療機関・人材の確保育成、看取りに関する普及啓発
- (2) 介護との連携
地域包括ケアシステムの構築に向けた市町村の体制整備支援、広域的な取組み支援

数値目標

○訪問診療・往診を実施する診療所、訪問看護の指示を実施する診療所の割合 ○訪問歯科診療・往診を実施する診療所の割合 ○訪問看護利用者数